



精神科病院管理職者の為の人材育成力支援事業

事業代表者：川村道子
事業メンバー：葛島慎吾
池間功一

本事業は、宮崎県内の精神科病院管理職者の方々を対象に人材育成力の向上を目指すもので、1年の間に3回のセミナーを開催し、3回連続で参加するというスタイルのプログラムを企画しました。令和6年度は、県内11の医療施設から、22名の管理職の方々の参加がありました。



「人材育成とは」について公的機関の資料を元に講義を行いました。参加者同士が、所属施設での人材育成の現状や課題など情報共有しながらディスカッションを行いました。参加者はそれぞれ、第3回目までに、所属施設にて行った人材育成に関する指導場面をリフレクションする、という課題に取り組むこととしました。



第1回目

R6年 8月1日

人材育成におけるリフレクションの視点で、管理職者に必要な人材育成能力について講義を行いました。その後、参加者自身の人材育成能力や各施設での人材育成の現状や実際について、ワールドカフェ方式で意見交換・ディスカッションを行う時間を設けました。

第2回目

R6年 11月13日

第2回目の課題の取組「人材育成に関する指導場面のリフレクション」を報告し合い、ディスカッションを行いました。また、精神科看護師のスペシャリストの育成と活用について所属施設の状況に照らして今後のプランニングに活かせる講義を行いました。

第3回目

R7年 2月19日

《参加者の声》

- 様々な病棟管理者の考えが聞け、自分には無い考えを知ることができ、学びになりました。また、人材育成という点において自身の力不足を感じ、今後も日々病棟スタッフと一緒に良い看護ができるよう努めたいと感じました。
- 管理者ともなると日々多忙に追われる中で、こうした場で再認識できる事は凄く有り難いです。
- 人材育成に対して指導だけでなく、その後の振り返りを行う事の大切さを学ぶ事が出来ました。今後の自分の成長にも繋げていきたいと思います。